

土木学会におけるダイバーシティ&インクルージョンの推進

(株) 建設技術研究所 正会員 ○米山賢

1. はじめに

今日、「働き方改革」「女性活躍推進」といった言葉は耳目に触れる日がないほど社会で広く用いられている。

社会全般に比べ遅れてスタートした土木界におけるダイバーシティ(=多様性)の推進は、男女共同参画に始まり、最近では生産性向上や担い手の確保といったニーズから、さまざまな多様性への広がりが見られるようになってきている。

本稿は2015年に土木学会が「ダイバーシティ&インクルージョン行動宣言」を策定して以降、その推進活動を中心的に行ってきた「ダイバーシティ・アンド・インクルージョン推進委員会」(以下、「D&I委員会」という)の最新の取り組みについて紹介するものである。

2. JSCE2020 プロジェクトの推進

(1) 土木学会における JSCE2020 プロジェクトの推進

土木学会では、2020年度より、新たな5か年計画「JSCE2020-2024～地域・世代・価値をつなぎ、未来社会を創造する～(略称:JSCE2020)」を開始した。これを構成する4つのプロジェクトのうちの一つとして「土木D&I2.0にむけた活動の場とツールをつくる」が位置づけられ、20～30年後に達成すべき中期重点目標「目標4」に該当することとされている(表-1)。

表-1 JSCE2020 中期重点目標

○目標1 (安全・安心)
安全で安心して豊かな生活ができる持続性の高い国土再構成
○目標2 (国際)
我が国が有する質の高いインフラの海外展開と国際的諸課題の解決への主体的貢献
○目標3 (コミュニケーション)
専門的知見に基づく公正な立場での対話と情報蓄積・公開を促すしくみの整備と利活用
○目標4 (人材)
次世代の土木技術者の育成と多様な人材が活躍できる社会の実現

(2) D&I委員会における JSCE2020 プロジェクトの推進

「土木D&I2.0にむけた活動の場とツールをつくる」は、D&I委員会が他の委員会・組織と連携しながら進めるもので、大きく2つの目的を有する。

一つは、これまでに推進してきた土木学会のD&Iの成果と活動をふまえ、対象を女性に限定せず、取り組みの領域とネットワークの拡大を図ることをめざし、アクティブな活動を支えるプラットフォームを構築するというものである。

もう一つは、自らの職場でD&Iの進捗状況や成果を意識化することにより、土木界のD&I進展をはかるための土木界向けツールを作成することである(図-1)。



図-1 「土木D&I2.0にむけた活動の場とツールをつくる」における目的と目標

D&I委員会は、上述したそれぞれの目的に応じて以下のような活動を展開しており、3.においてこれまでの主な活動について紹介する。

- 【A-1】 ・D&Iカフェトーク
- 【A-2】 ・全国大会における研究討論会
- 【B-1+B-2】 ・土木界向けツールの作成
- 【B-3】 ・土木D&Iポスターコレクション
- 【共通】 ・全国大会における共通セッション
- ・学会内・他学協会との連携
- ・委員会サイト・FBを通じた情報発信

Key Words : ダイバーシティ, インクルージョン, 生産性向上, JSCE2020 プロジェクト

〒103-8430 東京都中央区日本橋浜町3-21-1 03-3668-4226 yoneyama@ctie.co.jp

3. 活動の概要と成果

(1) D&I カフェトーク【A-1】

D&I カフェトークは、「D&I は、決して難しいものではなく、一つの正解があるものでもなく、人それぞれの D&I があってよいのではないか」という発想の下、さまざまなゲストに「身近な D&I」をアンカーが伺ってみるといふ企画である。

参加しやすいように隔週金曜日の 17:00 開始とし、気軽に聴いていただけるよう時間は 30 分間とした。

カフェトークは、女性、男性、外国出身者、土木以外の業界の方など多様なゲストによる多様な話題で、開催回数は 2021 年度末までに 20 回を数え、全回アーカイブ映像を視聴できるようにしている（図-2）。



図-2 D&I カフェトークのコンセプト

(2) 全国大会における研究討論会【A-2】

2021 年度の全国大会において、国際センターとの共催で研究討論会「土木 D&I 2.0：考えよう、ルーツの多様性で土木界を元気に」を開催した。オンライン開催となったことにより、海外在住の外国出身技術者にも登壇いただくことができ、継続的なネットワークの礎ができたと考えている（図-3）。

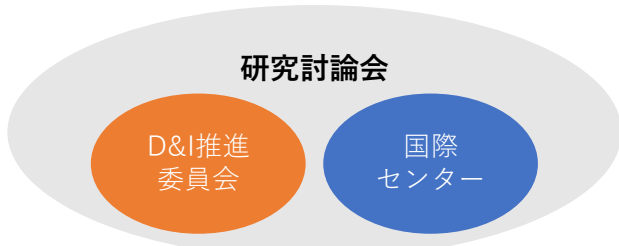


図-3 研究討論会の実施体制

(3) 土木界向けツールの作成【B-1+B-2】

自身が所属する組織の D&I の現状を把握し、必要な取り組みを検討するとともに、その効果を確認するためのツールを作成する活動である。実用性を高めるため、土木界の実態に沿ったユーザーやユースケースを想定しながら作成している（図-4）。

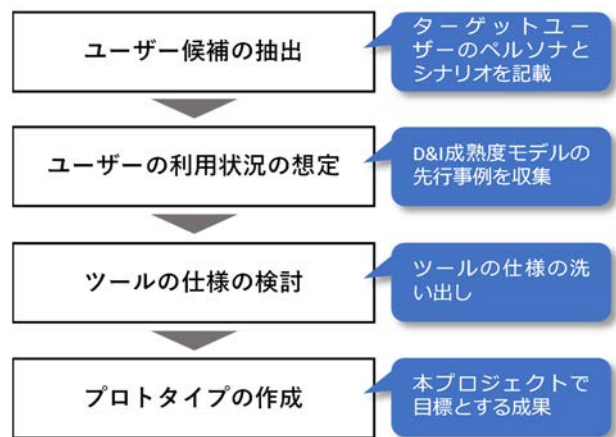


図-4 土木界向けツールの作成手順

(4) 土木 D&I ポスターコレクション【B-3】

土木界におけるダイバーシティの推進を発信していくため、2018 年、2019 年に実施した D&I ポスター展の継続・発展版として進めている活動である。

具体的には、各職場等の D&I に関する取り組みを表現したものを公募し、応募のあったポスターを掲示するというもので、以前のポスター展では土木会館 1 階廊下壁面を利用して期間限定で掲載したが、今回のポスターコレクションではコロナ禍もあって常設展のような形でのウェブ掲載とした（図-5）。



図-5 土木 D&I ポスターコレクション画面

4. おわりに

本プロジェクトは 2022 年度を活動の区切りとしているが、土木 D&I 2.0 の実現には期間限定でない活動として今後も実施していくことが求められる。

<参考文献>

- 1) 土木学会 5 か年計画（2020 年 4 月 1 日時点）
<http://committees.jsce.or.jp/JSCE20XX/>
- 2) 土木学会 D&I 委員会ウェブサイト
<https://committees.jsce.or.jp/diversity/>